

# 翼PTA通信

第50号  
令和7年3月1日  
発行  
翼キャンパス  
PTA

「未来への扉を開く皆さんへ」

PTA会長 大野 敦子

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。この日を迎えるにあたりこれまでの学校生活を振り返ると多くの挑戦や努力、そして皆さんそれぞれが乗り越えてきた数々の壁があったことと思います。卒業という日を迎えられたことは周囲の方々の温かい支えがあったからこそだと思います。

先生方には日々子供達に真剣に向きあい、優しく、時には厳しく寄り添い頂き心より感謝致します。

卒業生の皆さん、振り返れば高校生活を始めた頃は、一人ひとり異なる背景や経験を抱えており、新たな環境への期待とともに、不安や戸惑いもあったことと思います。皆さんの経験の中、一步一步自分らしく前に進み立派に成長した姿をととても嬉しく思います。

卒業は新たなスタートラインに立つ日です。これから進む道には新しい挑戦や経験が待っています。決して平坦な道ばかりではないかもしれませんが、今日まで皆さんがこの翼キャンパスで学び過ごした日々がこれからの人生の大きな力となることでしょう。

「自分らしく、自分のペースで進む」その姿勢を持ち続けてください。そしてどんな時も自分を信じて進んでいくってください。

これから皆さんが歩む道は、一人ひとり違います。進学する人、就職する人、新たな挑戦に向かう人、それぞれの目標に向かって進んで行くこととなります。時には悩んだり迷ったりすることもあるかもしれませんが、その時は周りの人を頼りながら、焦らずに自分の道を見つけて行って下さい。

またこれからの人生において、うまくいかないことや、思い通りに進まないこともあるかもしれませんが、そんな時はここで過ごした3年間を思い出してください。乗り越えた経験や、支えてくれた人の存在を思い出せばきっと前を向く力が湧いてくるはずです。皆さんの持つ強さと優しさを大切にしながら一歩ずつ進んでいって下さい。

家族や先生、友人これまで皆さんを応援してきた人はこれからも皆さんの味方です。困ったとき悩んだときは遠慮せずに頼って下さい。支え合うことができる人がいるということは人生においてとても大きな力になります。何歳になっても新しく挑戦することは出来ます。焦らず、あわてず、あきらめず、自分のペースで未来を築いて下さい。

皆さんの未来が希望と喜びに満ちあふれるものであることを心から願っています。

本日は本当におめでとう、ございます。そしてこれからもずっと応援しています。

## 卒業を迎えて

校長 大島 隆二

卒業生の皆さん、おめでとう。そして、保護者の皆様、お子様の御卒業おめでとうございます。人生で最も多感で、著しい成長期のお子様、こうして慶びの日を迎えられましたことは、感慨もひとしおのことと推察いたします。また、これまで、本校の教育活動に多くの御支援と御協力を賜り、職員を代表して厚くお礼申し上げます。

さて、卒業生の皆さん。高校生活の中で得たものは何でしょうか。知識や技能だけでなく、大切な友達や学校行事などで感じた達成感もあるでしょう。まずは、無事に卒業を迎えられた自分自身を褒めてください。卒業は、入学したときに立てた目標を達成した瞬間です。このことを誇りに思ってください。

本年度はAIの技術が大きく進展しました。特に文章、画像、音声、動画などを作り出す生成AIが普段の生活の中にも使われ始めました。こういったAIを活用することで自分の可能性が伸長され、チャンスが多く巡ってくることもあります。その際に必要になるのがAIの出力結果を鵜呑みにせず、正確に評価できる判断力です。これからの人生をより豊かにしていくためにも、自ら考え、判断し、行動できる人になってください。

「あいちの教育ビジョン2025」において示されるように、あいちの進める教育は「自ら高めること」と「社会の担い手となること」を基本としています。つまり、これから社会に出て行く皆さんにとって大切なことは、高いモチベーションをもって学び続けていくことにあります。今後、如何なる時代が来ようとも、学び続けている限り、道は開かれます。困ったときにこそ、知識や技能を習得してみましよう。苦勞して身に付けたものは、役立つときが必ず来ます。

もしそれでも、道に迷って立ち止まってしまったときには、心のよりどころとして翼キャンパスのことを思い出してください。そして、相談に来てください。そのとき学校は、皆さんを温かく迎え入れる準備をして待っていますので、気兼ねなく頼ってください。

最後に、卒業生の皆さん、明るく、正しく、たくましい立派な社会人として、新たな人生を力強く、そして着実に歩んでいってください。皆さんの前途に幸多かれと心より祈念しています。

# 卒業生に贈る言葉

三年一組担任 安藤 美怜

【いつでも、何事にも、全力で】

卒業おめでとうございます。翼キャンパスで過ごした3年間には、多くの学びがあったことでしょう。

将来の夢や目標が見つからなくて不安になったり、「好きなことと得意なことが一致しない」と葛藤したり、奮闘するみなさんを見てきました。人間関係においても、「どのように行動すれば良かったのか」、「友人にどんな言葉を掛けてあげれば良かったのか」と落ち込む様子を見ました。いつしかみなさんの抱える悩みは、自身の悩みにもなっていました。いつも一緒に泣いたり、怒ったり、笑ったりして、気持ちを共有したいと思って接してきました。すぐには答えが見つからないのに必死に向き合う姿に、私の方が心救われ、励まされ、勇気をもらっていたような気がします。繊細で傷付きやすく、素直で優しいみなさんと出会えたことが、私の宝物です。

いのちの詩人と称された、相田みつをさんの「肥料」という詩を紹介します。

あのとときの苦しみも

あのとときの悲しみも

みんな肥料になったんだなあ

じぶんが自分になるための

世の中には、『努力は実る』という言葉がありますが、実ることの方が人生においては少なく、現実は厳しいものです。不条理や不合理な出来事に悩まされることもあります。しかし、挫折や失敗だと思っていたことが、「すべて自分の糧<sup>たね</sup>になっていたのだ」と意外な形で気付かされる瞬間が出てきます。そのとき、初めて『成功は確約されていないが、成長は約束されている』ということを知ります。そう断言できるかどうかは、今の自分が輝いているかどうかだと思います。逃げずに本気で向き合ってきた人だけに得られるものが必ずあるはずですよ。「どうせ」「だって」という言葉で終わらせることなく、どんな結果が出るかはさておき、「いつでも、何事にも、全力で向き合ってほしい」というのが私の願いです。

すべての経験にはなんらかの意味があります。自分で自分のことを認めてあげられる・褒めてあげられる・大好きでいられるように、毎日を大切に過ごしてください。

三年二組担任 北河 俊哉

【不適切にもほどがある(!?)担任より頑張ったみんなへ】

まさか自分が担任としてまた卒業生を送り出すことができるなんて、思ってもいなかった。だから、不安もあったけど、みんなのおかげで(×生き生きとして(?) (G前教頭先生)、何とか卒業までたどり着くことができました。どうもありがとう。(そうでなきゃSTを短時間で終われなかったよ。)(3年2組は、STをやっつけないんじゃない?)って噂があったけど・・・ちゃんとやっつたよね!・・・はて(?)。)

「いのちの授業」でもやっていたけど、みんなは、すごい奇跡の中で、命を授かって、色々な人のおかげで、今ここにいるわけで、これからも感謝の気持ちを持って生きていかなきゃね。

卒業の英語訳は、graduation とか commencement で、graduation は「grad(レベル)が上がるということ」、commencement は「始める」ということで、卒業を機会に自分のランクを一段上げて、新しい世界に向かって挑戦を始める時ということになります。そうすると、当然失敗することも増えてきます。その時、大事なことは、失敗を恐れず行動し、もし失敗しても、その失敗から何か掴んで、よりよい方向に進んでいけばいいと考えることだと思う。

『人生はすべて実験である。失敗したら、もういちど起き上がればよい。転んだって何ともない。』(byラルフ・ワルド・エマソン)

『失敗がなかったら、人生はすこぶる退屈になるだろう』(byオスカー・ワイルド)

そして、これからは、答えのない(?)問題が、みんなの前に出てくるが多くなっていくと思う。それは、他の人が出した答えではなく、自分で自分なりの解答を見つけていかなくちやいけなくなるってことだと思う。

♪答えがある問いばかりを教わってきたよ。だけど明日からは自分だけの正解を探しに行くんだ・・・解答時間は自分のこれからの人生・・・採点基準は自分のこれからの人生♪(『正解』より) ———— っつね。

Don't worry! You can do it! (大丈夫。みんなならできるよ。)

♪最後のチャイムが鳴る。桜も祝福してる。最高の自分に出会えるまで恐れないで一歩ずつ進もう。沢山の思い出 ありがとう。沢山の幸せ ありがとう。そして、卒業おめでとう。♪(『最幸の宝物』より)

That's all for today. ... See you! (今日はこの日まで。またね。)(これは授業終了時に僕が言っている言葉)

三年三組担任 鈴木 要

【夢に向かって進め!】

夢を追う中で壁にぶつかり  
そのたびにまた夢を語った  
何度も何度もあきらめかけた  
でも君とまた走り出そう 夢を掴む日まで

これは、僕が好きな『ドリームキャッチャー』という曲の歌詞です。

あなたには夢や目標とすることはありますが、その夢や目標を実現するために必要なことは何でしょうか?

一人ひとり追いかける夢や目標は違いますが、それを実現するために必要なことは、努力を続けることだと思います。努力を続けることは、簡単なことではありません。一生懸命頑張っていると壁にぶつかることもあるでしょう。気持ちが続かず夢や目標をあきらめてしまいそうになることもあるでしょう。そんな時は、自分の周りに目を向けてください。すると、話を聞いてくれる友人や、応援してくれる家族がいることに気づくことでしょう。あなたの努力する姿はいろんな人が見てくれていて、支えてくれています。そして、いろんな人に助けってもらいながら夢を掴んでください。翼キャンパスを過ごしてきた時間で、多くのことを学び、たくさん成長してきた君達ならできると思います。多くの困難を乗り越えながら夢や目標を実現する人生は、とても楽しい人生だと思います。あなたたちの人生が『楽』な人生ではなく『楽しい』人生になってほしいと思います。あなたたちのこれからの人生が笑顔いっぱいになることを願っています。

四年一組担任 下條 直樹

【『自分らしく』をめざして】

卒業を迎えるみなさん、卒業おめでとうございます。山あり谷ありの四年間でしたが、みなさんが卒業という目的地に到達できたことをとてもうれしく思います。まだまだ、道は続きます。次の目的地に向けて、着実に進んでいってください。

この四年間、良いこと悪いこと本当にいろいろなことがありました。それを振り返ると、『塞翁が馬』ということばが浮かんできます。その言葉から、良いことの後には悪いことが、悪いことの後には良いことがあると考え、良いときは油断せず注意深くし、悪いときは良くなることを信じ踏み張ることを心がけています。これからみなさんが進む道も平坦ではなく良いときも悪いときもありません。良いときに調子に乗りすぎてどん底に、悪いときにあきらめて浮き上がれない。そんなことにならないように、冷静に自分をみつめて、少しでも良いときが続くようにしていってください。

最後に、『至る所に青山あり』。一つのことにとこだわらず、自分にあつた場所をもとめて新たな場所を目指すことも大切です。現状に満足せず常に挑戦しつづけることを心がけ、『自分らしく』を見つけてください。

【私が高校三年間で得たもの】

私の高校生活の三年間は、ひとときも忘れられない濃い時間でした。

中学時代、友人との距離感に悩み疲れて不登校になっていた私は、高校入学が楽しみという気持ちと毎日登校して卒業できるのかという大きな不安を持っていました。

入学してすぐの私は、「やばい学校に来てしまったかもしれない！」と思いました。その理由は、少し怖そうなおな人がクラスに居たり、新入生の様子を見に先輩達が一年生のフロアに来たりしていたため、とても大きな衝撃を受けたからです。しかし、この状況が逆に私を奮い立たせ、「私は三年間ここで高校生活を送り、卒業するんだ！」という覚悟ができました。

最初の一週間が終わり、少し学校に慣れてきました。周りが見える余裕が出てくると、私が怖そうと思っていた人たちは、実際はそうではなく、寧ろ優しい側面も持っていることに気づけました。安心できる部分も増えて、「私、やっていけるかも」と前向きになれて、積極的にクラスメイトに話しかけるようになりました。すると、次第に友人が増えてきて、学校に行くことが楽しくなりました。

秋の文化祭準備期間中には、同じ作品を作り上げていく中で今まで以上に仲が深まり、交流も増えたことで更に友人が増えて、学校に行くことが当たり前の感覚になりました。

しかし、一年生の終盤になると中学校の時のように友人との距離感に悩みが出てきてしまいました。ただし、相談しやすい仕組みがこの学校にはあり、信頼できる仲間の存在も大きく、無事乗り越えることができました。安定した日々を送る中、二年生の後期には、生徒会長に挑戦しました。認証式での挨拶では、身の引き締まる思いで就任をかみしめました。その後も、様々な講演会がある度に、挨拶や謝辞を述べさせていただき、本当に素晴らしい経験をさせていただきました。初めてのことはばかりで、不安に思うこともありましたが、一つ一つ乗り越えていくことで自分自身に自信を持つことができました。

三年生の夏に作り上げた、文化祭のオープニングを盛り上げるムービーも、成長を実感できるきっかけでした。もちろん私だけの力ではここまでの作品はできません。しかし、先生方や生徒会の仲間が居たからこそ完成であり、協力して行う力の大きさを感じることができました。

さらに、文化祭のクラス企画責任者として、皆の案をまとめ、方向性を示し、得意不得意など個人の特性に合わせた指示を出すなど、一年生の時にはできなかったことが、これまでさまざまな経験をしてきたことで、できるようになりました。

振り返ると、私は高校三年間でたくさんの友人と自信を得ることができ、かけがえのない時間を過ごすことができました。卒業後もたくさんの壁にぶつかるとは思いますが、ひとりで溜め込まず、頼れる存在に相談して、高校生活で培った力と自信で乗り越えていきたいと思えます。三年間ありがとうございました。

【相談室から】

今年が巳年。新しいことが始まる年になると言われています。良い年になると信じ、夢や目標をもって一歩前に進んでみましょう。

人は誰でも悩みをもちます。悩みがあることは恥ずかしいことでも特別なことでもありません。悩んで考えてまた悩んで・・・こんなとき解決に向けて力になってくれるものの一つに読書があります。一口に本と言っても、小説、エッセイ、詩集のほか、政治、経済、歴史、文学、科学、医学など非常に幅広くさまざまな本があります。そして、この中から自分が手に取った本をとおして、人の体験や経験、考えに触れ、新しい知識や視点・発想を得たりすることがあります。さらに本の中にはその時々々の気持ちに寄り添ってくれるものもあり、その結果、悩みや問題の解決の大きなヒントを得ることがあります。そんな素敵な本の世界。まずは一冊から、あなたも読書を始めてみませんか。

それでも、どうしても悩みや不安から抜け出せないときは、相談室を利用することも一つの選択肢です。困ったときには、気軽に来室してください。保護者の皆様へ。本校の相談室は、お子様の相談はもちろん、お子様のことに関わる保護者の皆様の相談も承ります。何かありましたら気軽に来室してください。電話での相談も行っています。

【相談室利用について】

相談日… 学業日（月～金曜日）

時間帯… 九時～十五時

（但し、金曜日は十四時迄）

方法… 来室相談（電話相談も可）

場所… 翼キャンパス本館玄関横